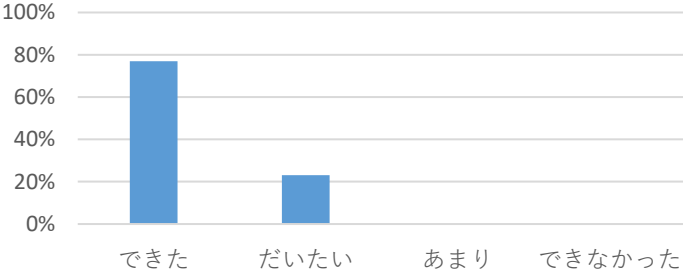
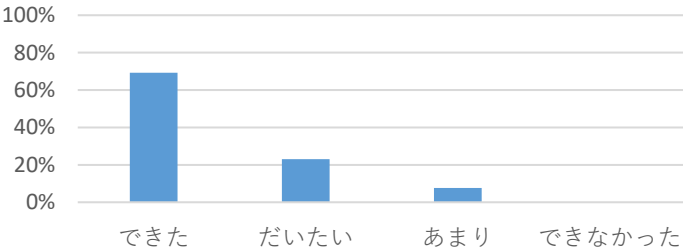
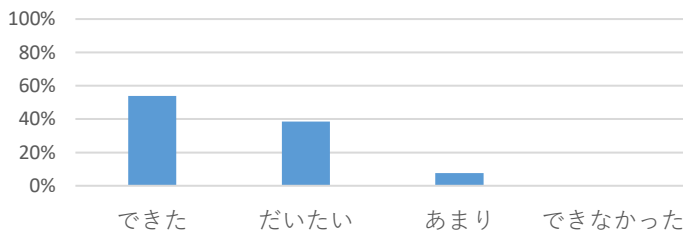
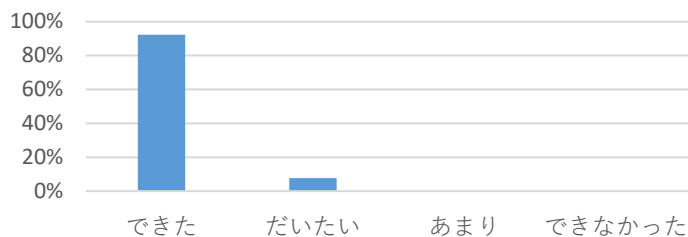


令和5年度 学校評価結果

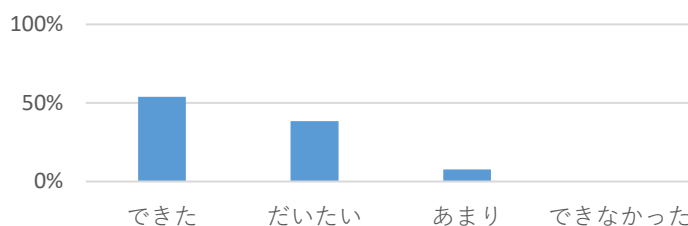
I 学校経営への参画	教職員自由記述										
<p>1 令和5年度の学校経営方針に基づき、主体的に行動するとともに、他の教職員と協力して指導、勤務に当たっている。</p>  <table border="1"> <caption>Item 1 Data</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>できた</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>だいたい</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>あまり</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>できなかった</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	できた	80%	だいたい	10%	あまり	10%	できなかった	0%	<p>○教職員同士の報告・連絡・相談を徹底している。また、分からないものを分からないままにしないよう心がけ、調べたり相談をしたりすることができた。</p> <p>○自分の仕事は責任をもって行っているが、他の学年や分掌の仕事に積極的に関わることができなかった。</p>
Category	Percentage										
できた	80%										
だいたい	10%										
あまり	10%										
できなかった	0%										
<p>2 目指す児童像、学校教育目標の具現化に向けた学習指導、生活指導を行っている。</p>  <table border="1"> <caption>Item 2 Data</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>できた</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>だいたい</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>あまり</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>できなかった</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	できた	75%	だいたい	25%	あまり	0%	できなかった	0%	<p>○「心豊かな子」を目指し、元気のある挨拶や率先して仕事を行う姿を褒めて伸ばした。</p> <p>○温かい言葉があふれる学校になるよう「ふわふわ言葉」をテーマにした掲示物を作成した。</p> <p>○保健室を利用した児童と一緒に、体調を崩したり、けがをしたりした原因を考え、自分で健康管理できるよう伝えることができた。</p> <p>○理科で既習を生かして学習を進めていく授業計画を立て、実施することができた。</p>
Category	Percentage										
できた	75%										
だいたい	25%										
あまり	0%										
できなかった	0%										
<p>3 校務分掌において計画的な提案を行い、教職員と共通理解のもと業務を行い、振り返りをもとにして課題への改善策を示している。</p>  <table border="1"> <caption>Item 3 Data</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>できた</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>だいたい</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>あまり</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>できなかった</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	できた	65%	だいたい	25%	あまり	10%	できなかった	0%	<p>○職員会議の提案計画に従って、冬の健康管理と3学期の身体測定について協議することができた。</p> <p>○就学時健康診断で先生方から出された反省用紙をまとめ次年度の改善点を検討しているところである。</p> <p>○管理職や教科主任に相談・報告をしながら業務を進めることができた。</p>
Category	Percentage										
できた	65%										
だいたい	25%										
あまり	10%										
できなかった	0%										
<p>4 学校課題研究「課題を正確につかみ、自ら解決方法を考え、学ぶことを楽しむ児童の育成」の推進のため研究に取組み、教職員への授業公開を積極的に行っている。</p>  <table border="1"> <caption>Item 4 Data</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>できた</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>だいたい</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>あまり</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>できなかった</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	できた	55%	だいたい	40%	あまり	5%	できなかった	0%	<p>○学校課題研究に学校全体で取り組んでいる。自身で設定した研究に時間をかけ、さらに深めていきたい。</p> <p>○校内で各自の研究を深め、発表したのはよい学びになった。</p> <p>○一人一人が教材研究にとっても積極的に取り組んでいる。常に教職員に授業公開をして、参観できるようにしているが、授業や事務処理があり、相互の授業参観を多くはできなかった。</p>
Category	Percentage										
できた	55%										
だいたい	40%										
あまり	5%										
できなかった	0%										

5 教育校務員としての自覚をもって、日々の自己の言動を律すると共に、法令を遵守し、教職員事故の絶無に取り組んでいる。



○倫理確立委員会では、事故を起こさないよう、**不祥事防止について進んで**考えている。

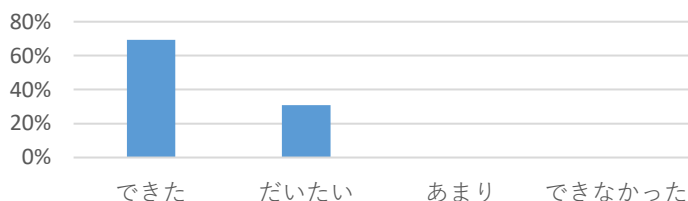
6 計画的年休取得や業務改善を進め、ワークライフバランスを考えた効率のよい働き方をすることに努め、自身の心身の健康管理に取り組んでいる。



○授業を年間指導計画に沿って計画的に進め、早めに年休取得を先生方に伝えることで、**計画年休取得をスムーズに行えた。**

○カエルミーティングで業務改善に全教職員で取り組み、働きやすい職場づくりを行うことができた。

7 「チーム平北」の一員としての意識を高くもち、児童、保護者、地域及び教職員自身のwell-beingを高めるように努めている。



○職員室やトイレなど、**自然と目に入る場所に「SPIRE」や「幸せの4因子」の掲示があるので、**随時確認して、振り返りをしている。

○校内研修や平方地区4校合同研修など、**ウェルビーイングについて学ぶ機会が多く、意識を高められた。**

○**物事を前向きに捉え、ポジティブ変換している。**心を整えることで声掛けの内容も変わり、**児童の自己肯定感を高める指導**ができた。

「1 学校経営への参画」について

○「1 学校経営方針に基づいた指導、勤務」「2 目指す児童像、学校教育目標の具現化」「3 校務分掌」「5 法令遵守、教職員事故の絶無」「7 ウェルビーイングの向上」の良評価が9割を越えており、全教職員で目標を共有した指導が行われているといえる。

○「7 ウェルビーイングの向上」の良評価が9割を越えている。”SPIREの5要素”や”幸せの4因子”に基づいた学校経営、学級経営を行い、心理的安全性の保たれた教育環境ができています。

○「4 学校課題研究の推進」は良評価が8割を越えている。教員のキャリア段階に応じた個別最適な研究に取り組んで多様な実践を行うことができた。個の実践を深められたので、成果と課題を共有し、研究をさらに推進していく。

○「6 働き方改革と健康管理」は良評価が8割を越えている。計画年休取得やカエルミーティング等で業務改善に取り組むことができた。行事等で仕事量が増えることがあるが、部会等で分担し、見通しをもって計画的に取りかかることで、負担軽減できるようにする。

2 学力の向上

教職員自由記述

8 児童が主体的に楽しんで学習できるよう工夫し、単元の中で対話等を通じて意見の交流や意見の練り上げを行い、深い学びのある授業を行っている。



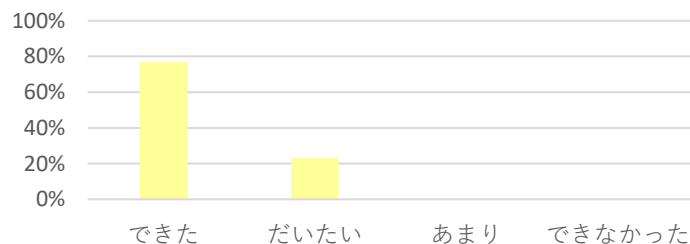
○多くのクラスで子供たち同士で話し合い、答えを導く様子が見られた。

9 学習指導要領、年間指導計画に従って学年間の繋がりを意識した授業を計画的に行うとともに、本時の目標と課題に沿った評価を蓄積している。



○児童が「これ〇年生で習った」と学習したことをよく覚えており、学習の積み重ねができていていると感じた。

10 児童の実態を踏まえ、学習の目標達成に向けて、課題設定や活動、板書を工夫するとともに、発問を精選し、児童が自力解決できるようにしている。



○先生方の黒板がとても見やすい。色や学習することが明記されていて分かりやすい。

11 単元の中で、学習形態を工夫し、目的を明確にした話し合いや学び合い、ICT端末等を用いた活動等を通じて、協働的な学びの充実を図っている。

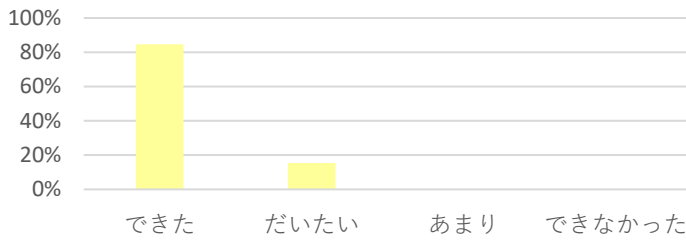


○スマイルネクストを活用した個別最適な学習やスクールタクトを使った協働的な学習の充実に取り組んでいる。

○ひかり学級の児童には、自力解決が困難な時、個別の課題に取り組む時にプリントを使った方が適していることもある。指導内容に応じて話し合い活動やICTの活用を積極的に行っている。

○書写の授業で大型モニターは毎時活用するが、実技中心のために学期2回ほどしか児童にICT端末を利用させていない。

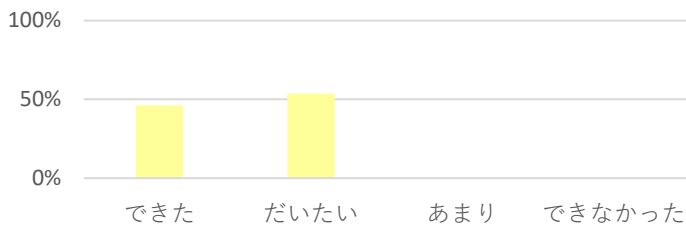
12 既習事項の想起、活用や反復練習、家庭学習の充実を図ることで基礎的基本的な知識及び技能の習得の徹底を行っている。



○課題解決的な学習、反復学習、テスト返却時の具体的な指導や称賛を繰り返すこと、学力の定着につながっている。

○児童の実態を踏まえて授業改善を行っており、多くの児童の学力が高まっている。欠席の多い児童は習熟が間に合わず、時間が足りない。学習時間の確保と家庭の協力が必要である。

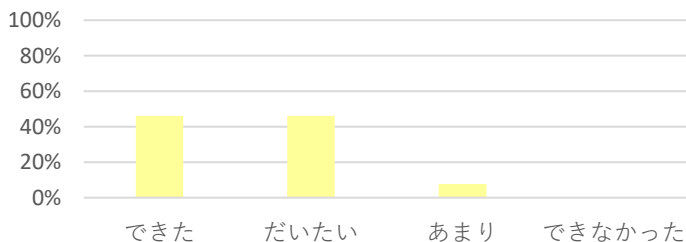
13 発展的な問題や社会との繋がりを意識した課題や発問により、発展的な学習・知識の活用を図っている。



○教科書のコラムなどを使い、学習が生活でどのように役立っているか考えさせることができた。

○発展的な学習の指導に時間をかけたいが、まず、基礎基本の定着を徹底させたい。

14 朝読書の実施、学習内容に応じた図書室の活用推進、学年貸出を通じて読書活動の充実を図っている。(週1回程度の図書室活用促進)



○読み聞かせ等の活動を積極的に行いたい。

○学級で図書室へ行く時間や借りた後に読む時間を教師が確保しないと、本を読まない児童がいる。1・2週間に一度は図書室の時間(国語の45分間)があってもよい。

○週1回以上の図書室活用を継続した。

○本に親しめるように互いに好きな本を紹介する活動を行った。図鑑や仕掛け絵本などしか読まない児童もいるので、文字を読むことにつながる指導もしていきたい。

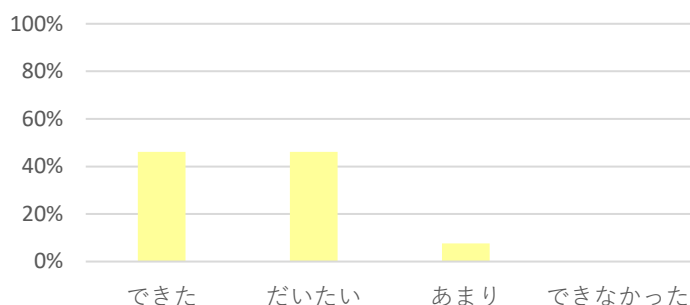
15 平方北小10の約束(学習場面5項目)と時と場面に応じた丁寧な言葉遣いを指導し、学習規律の定着を図っている。



○丁寧な言葉遣いができていない児童を見かけた際には、温かな言葉のよさについて話すよう心がけている。

○話し手に体を向けて話を聞く姿勢を徹底できるように指導を続けてきている。子供たちも大分意識できるようになってきている。

16 ICT端末を日常的に活用したり、習熟や意見交流の場面で活用したりする等、GIGAスクール化に対応した指導に取り組んでいる。(1日1回以上)



○**スクールタクトを頻繁に活用**することで、児童も使い方に慣れ、スムーズに自分の考えを書き込めるようになった。

○**各学年でICT端末を日常的に活用している様子**が見られた。ICTの活用は保健委員でも行っているため今後も実施していく。今後、ICT機器の活用における健康課題(視力や姿勢)について学校全体に伝えていきたい。

○ICT端末が1・2年生で共用のため、時間の調整や他の階まで取りに行く時間、ログインの手間等の課題があり、毎日の使用は他の授業に皺寄せがいくので難しい。

17 上尾市英語力向上プランに従い、英語活動、外国語活動・外国語科の充実を図ると共に、ALTと積極的に関われるよう児童に働きかけている。



○**外国語指導力向上研修で学んだことを生かして**、ALTとどのような授業にするのかを相談し、指導方法の工夫改善に取り組めた。

【2 学力の向上について】

○「8 主体的・対話的で深い学び」「9 年間指導計画に沿った授業実施」「10 学習活動、板書、発問の工夫改善」「12 基礎的基本的な知識・技能の習得」「15 10の約束(学習規律)」「17 上尾市英語力実現プランの実現」の良評価が9割を越えている。児童主体の授業づくりや児童一人一人が分かる楽しさを感じられる指導の工夫を行い、学力向上に取り組むことができた。

●「11 協働的な学び」「13 発展的な学習」「16 GIGAスクール化に対応した指導」の良評価が8割で授業改善が進んでいる。一斉指導で教師が「教える」授業の良さもあるが、すべての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」、「ICT端末の活用」に学びの形をシフトし、令和の日本型学校教育をさらに推進していかなければならない。

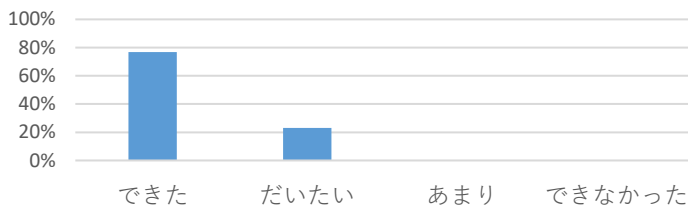
●「14 読書活動の充実」の良評価が8割以上だが、児童アンケートで読書を楽しいと答えた児童の割合は73%である。物語の世界に入り込む楽しさや新しい知識を得る喜びを感じられるよう、読書活動や図書室利用を促進する。学校応援団の活用も促進し、読み聞かせを行い、児童が本に親しむ機会を増やしていく。

3 豊かな心の育成

教職員自由記述

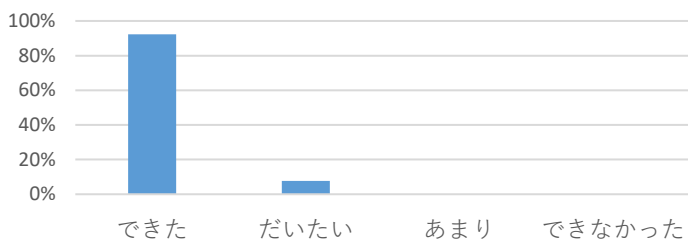
18 平方北小10の約束(生活場面5項目)、校内生活のきまりをもとに指導するとともに教員が模範を示すことで、児童にあいさつと返事、正しい言葉遣いを身につけさせている。

○教室に10の約束の掲示物があるので、こまめに児童に確認し、指導することができた。



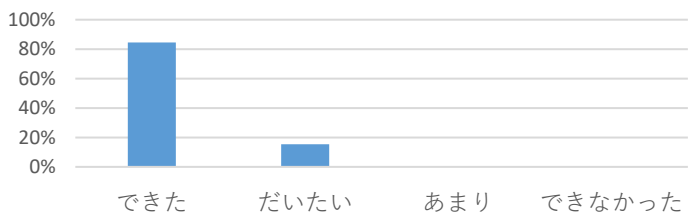
19 道徳科の授業を年間指導計画に従って確実に実施すると共に、学校の教育活動全体を通じて道徳教育・人権教育の推進を図っている。

○クラス替えが無く、クラスの人数が少ないので、人間関係が崩れると辛い思いをする児童が出てきてしまう。クラスのバランスを崩さない為にも、道徳教育にも力を入れてきた。低学年のうちに、思いやりの気持ちを持ち、善悪の判断が正しくできるように最後まで一人一人の言動に注意を払っていきたい。



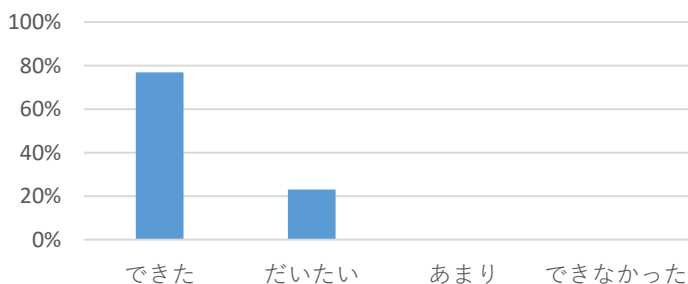
20 日常の対話を通じて一人一人の児童理解に努め、積極的な生徒指導を行うことで、児童の望ましい人間関係の醸成や集団づくりによる心理的安全性のある学級経営を行っている。

○本校は1クラスの児童数が少ないため、教員と児童の距離は近い。一人一人の個性や特性を理解したうえで、良さを伸ばす指導を行っている。

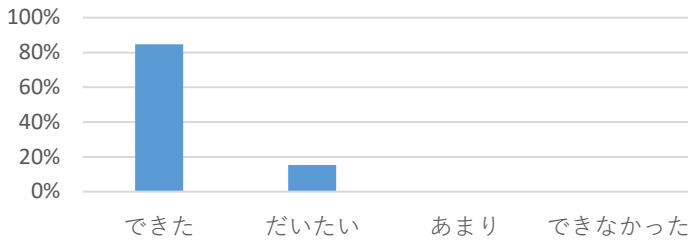


21 多様な体験活動を意図的に取り入れた指導を行い、児童の人間性の涵養を図っている。

○自然が身近にあるとても恵まれた環境で、授業や休み時間に自然を生かした教育をすることができている。

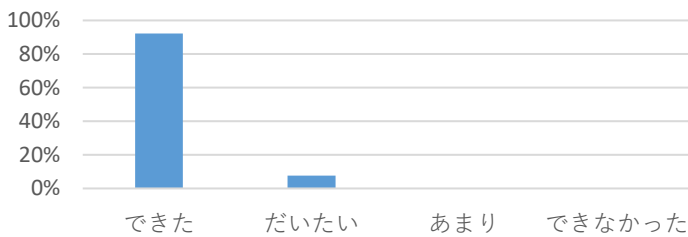


22 美しい教室・校内環境を維持するための指導を行うと共に、教師自らが整理整頓や清掃、掲示教育を通じて率先して児童に模範を示している。



○児童には、使った物の片付けや整理整頓でできていないときに指導している。児童自身が、プリントや資料を片付けるタイミングを考え、ある程度たまったらまとめて片付ける習慣になっている。

23 SDGsを意識させる掲示や発問を通して、持続可能な社会の実現に向けて児童と教職員がともに考えられるようにしている。

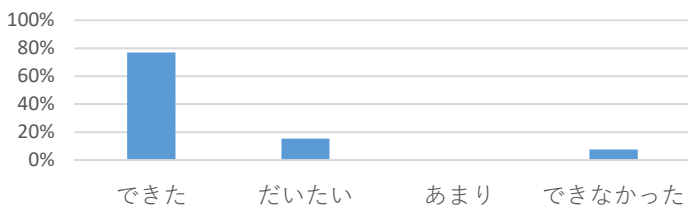


○SDGsについて全校で取り組み、ひらきーひろばの掲示を作り、意識を高めることができて良かった。

○環境委員会が積極的にSDGsに取り組んでいる。保健委員会でも児童に働きかけ、企画や掲示物の作成等に取り組みたい。

○SDGsの学習に関する掲示を行い、クラスだけではなく、全校に向けた啓発にも取り組んだ。

24 野鳥の森やピオトープ等の豊かな自然を授業の中で活用すると共に環境保護の意識や自然愛護の心情を育てる教育を行っている。(学期1回以上)

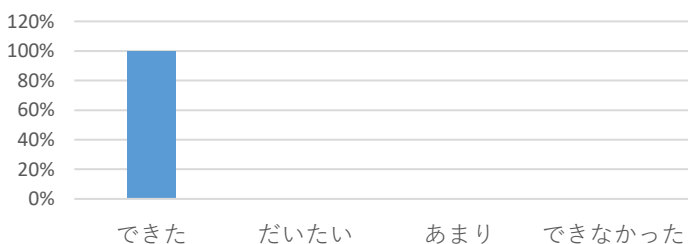


○国語の季節の俳句や詩を書く活動の際には、校内の自然を見て回り、ICT端末で写真を撮り、季節の自然を感じて活動することができた。

○生活科や図工の授業を中心に、野鳥の森の自然に触れる活動を多く行うことができた。

○書写の授業でも、自然に触れて感性を働かせるような学びの工夫をしていきたい。

25 児童一人一人との対話やアンケート等を通じて、いじめや不登校の早期発見に努めると共に、情報を共有(管理職、養護教諭、関係主任)し、組織的に対応をし、早期解決に努めている。(必要に応じたさ相、SC、SSW、関係他機関と…)



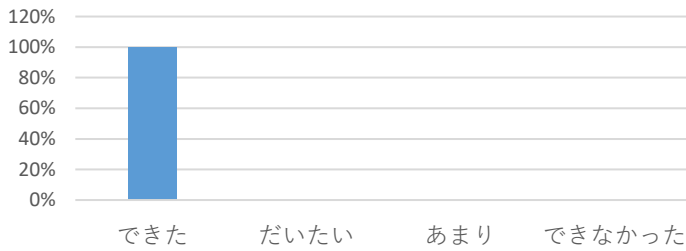
○3～6年生の全児童とスクールカウンセラーとの個人面談を行うことで、多面的な児童理解や居場所づくりに成果が出ている。

○褒める教育を推進するとともに、平方北小10の約束を活用した規範意識の向上に取り組み、道徳教育をさらに充実させたい。

○児童の話に耳を傾けることを心がけた。児童のSOSや悩みがあった場合、丁寧に聞き取りを行い、管理職と担任に報告することができた。

○各学級の授業中の児童の様子について、常に担任との連携を心がけ、小さな変化を見逃さないように気をつけてきた。今後も継続していきたい。

26 児童一人一人の個性や努力を認め、褒めて育てる教育を推進し、児童の自己肯定感の向上に努めている。



○生活指導を中心に細かいことでも称賛している。時間や当番への意識も高めていきたい。

○児童一人一人を知るために他学年と触れ合ったり、廊下ですれ違ったときにコミュニケーションをとったりと、児童との関わりを大切にしていた。できたことや思いやりある言動などを褒めており、今後も褒める教育を推進する。

○先生方の授業参観を行い、褒める指導について学べた。自身の実践を重ね、自己肯定感を高める声かけや褒め方ができるようになってきた。

○コーチング研修を通して、児童が自らより良い行動をとることができるような指導方法を学ぶことができた。成功体験を重ね、自己有用感を高める指導が大切だ。

【3 豊かな心の育成について】

○「豊かな心の育成」では、全9項目で良評価が9割を越えている。教室の「ひらっきーのひみつ」や掲示板の「道徳コーナー」「ふわふわ言葉」等をおして、児童のウェルビーイングを高め、明るく楽しく生活しようとする意識を高めることができた。道徳の授業や10の約束、日々の指導等により、児童の規範意識や人権感覚を育てることができた。日常における発達支援的生徒指導や課題の未然防止をねらいとした課題予防的生徒指導に全校で取組み、温かい環境の中で、豊かな心の育成に取り組んでいる。

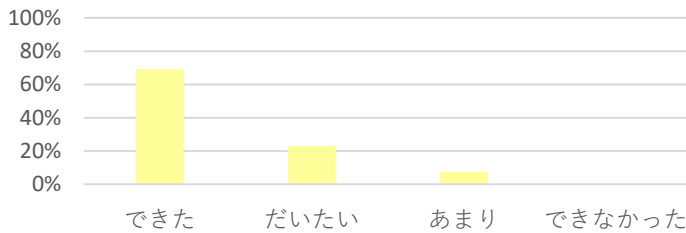
○「25 いじめの早期発見、組織的対応、早期解決」は良評価が10割となった。全学年で毎月行うなかよしアンケート、4～6年生の全児童が行ったスクールカウンセラーとの個別相談を行い、児童の心の健康状態の把握に取り組んだ。問題発生時には管理職と生徒指導主任が中心となり、民生委員や児童相談所等の外部機関との連携により、適切かつ速やかに対処することができた。

○「26 褒める教育、自己肯定感の向上」も良評価が10割となった。児童アンケートでも「先生は自分のことを分かってくれたり相談に乗ってくれたりする。」の項目で9割を越えており、児童一人一人を大切にしていた教育ができた。

4 体力の向上

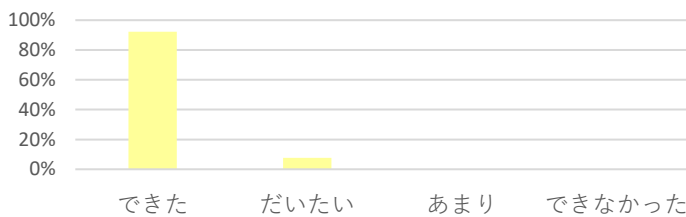
教職員自由記述

27 あおぞらタイム(業間休み)には児童に外遊びを奨励している。



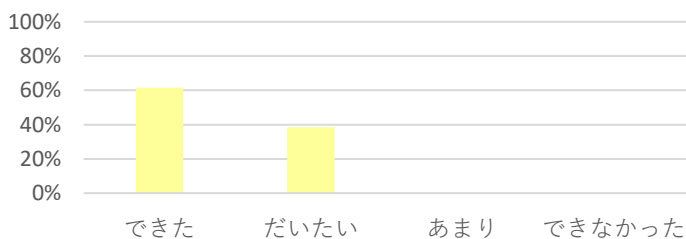
○25分休みはゆったりと時間が取れてよい。
 ○外遊びに消極的な児童がいるので、長縄などクラス単位での活動を増やしていきたい。
 ○児童と一緒に25分休みに遊び、体力向上や運動の楽しさを味わうことができた。
 ○休み時間が25分間確保されたことで、遊びに集中でき、十分に体を動かすことができていた。

28 体育授業において、天候や児童の健康状態を適切に判断すると共に、運動量を確保し、個に応じた課題設定とその解決を図る指導の工夫を行っている。



○児童が楽しめる内容、かつ運動量も確保できる体育授業を心がけている。
 ○体育時の熱中症対策として、先生方は適宜水分補給の声かけを行っている。
 ○日常的な運動の推進、体育授業での体力作りを毎時間行うことで、筋持久力や柔軟性、体力向上による授業中の集中力を向上させることができた。

29 体育授業を中心とした体力向上に努め、体育集会、体育的行事を通じて運動好きな児童を育成している。



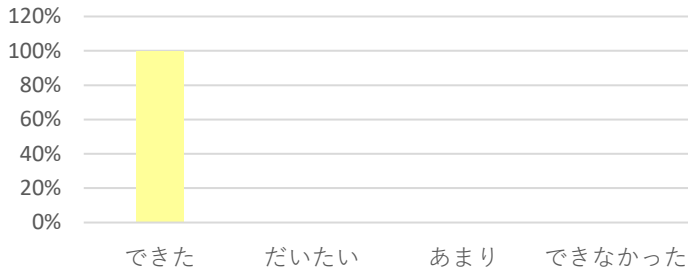
○体力向上に向けて、外遊びの奨励や体育の授業の初めにおにごっこ等の走る運動を取り入れることができた。

30 保健、安全、食育等を通じて学年の発達段階に応じて系統的な健康教育を行っている。



○生活単元学習の畑で野菜を育てる学習を通して、野菜や食に関心を高められた。
 ○好き嫌いに関わらず、給食の大切さを繰り返し指導することで、全員が毎日完食するようになった。
 ○歯科保健指導、避難訓練、食育授業を通して健康教育を充実させることができた。3学期の身体測定で、測定前に保健指導を実施する。

31 首から上の怪我や大きな怪我、体調不良による早退の際は、養護教諭、管理職に速やかに連携すると共に、保護者に連絡し、児童の状態や事故の状況等を丁寧に伝えている。



○怪我、体調不良、早退については、**管理職や養護教諭、教員、保護者間でスムーズに連携して対応**できていた。

○朝の出欠席は教務部を中心に**確実に確認**できた。

○首から上のケガや体調不良による早退、一人
で対応する場面等は**管理職に相談**して対応した。

○内線での連絡や児童に付き添っての来室があり、**担任と情報共有がしやすかった**。

○保護者対応は特に丁寧にいき、保健室に来室した理由、処置の確認、お迎えの依頼、児童の様子や症状を伝えている。**今後も管理職、担任との連携を大切に、丁寧な対応**をしていく。

【4 体力の向上について】

○「体力の向上」では、全5項目で良評価が9割を越えている。あおぞらタイムの外遊び励行や体育授業時の運動量の確保について共通理解し、全校で体力向上に取り組むことができた。あそび庁から講師を招いて行ったあそび体験も遊びや運動への意識向上に役立った。

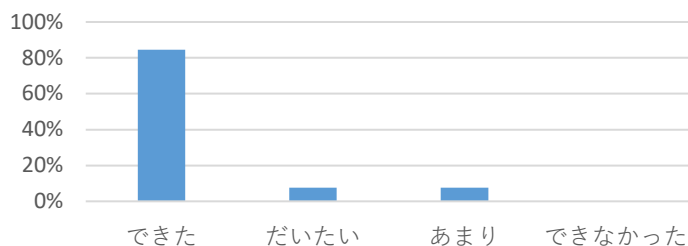
○「31 緊急時の連絡体制と早期対応」は良評価が10割となった。AED研修や心肺蘇生法研修、アレルギー対応シミュレーション研修等を生かし、養護教諭が中心となって適切に判断し、教職員も速やかに対応できた。

●新体力テストの結果を見ると、8項目中6項目で本校の平均値が県平均値を下回っている。体育授業の工夫や外遊びの励行をさらに推進し、児童に身体を動かす習慣を身に付けさせ、運動に親しめる工夫をする必要がある。

5 安心・安全の確保

教職員自由記述

32 教室、校舎内・外の整理整頓を行い、死角をなくし、事故の未然防止に取り組むと共に、期日を守って毎月の安全点検を行っている。

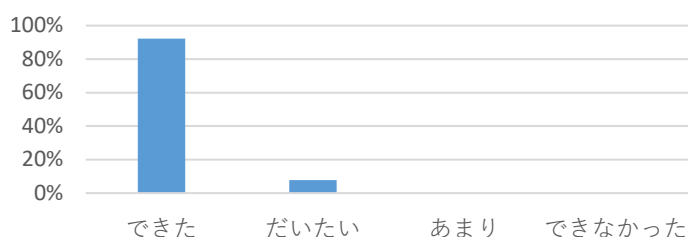


○校内に死角が多いことやその対策について、**倫理確立委員会で全教職員で確認**したことで、不祥事防止についての**意識を高める**ことができた。

○教職員一人一人が**日々真面目に適切に安全管理**を行っている。それでも漏れることもあるので、**声かけやダブルチェックが必要**である。

○**校務員が学校の清掃や整備**をしてくれるので大変助かっている。

33 児童・保護者・教職員等の情報を適切に扱い、持ち出し管理簿への記入を徹底し、紛失や漏洩がないよう適切に情報管理をしている。

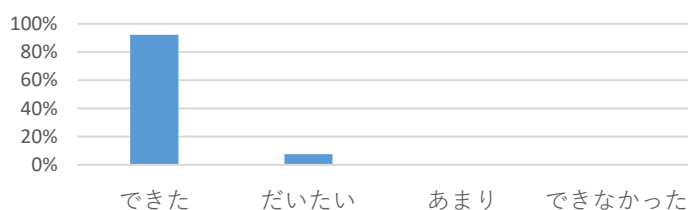


○大事な情報や個人情報に記載されているものは、**保管場所にその都度戻すようにして、紛失等の事故がないよう**心がけている。

○服務規程や校内規定などについて、年度当初の会議や倫理確立委員会での研修を通して**共通理解し、全校で徹底**することができた。

○児童・保護者の個人情報を扱う仕事は、**決して持ち帰らず、学校で行っている**。

34 日常的な観察により安全・安心な教育環境を維持すると共に、災害発生時の行動や不審者対応について現実感をもって児童に考えさせている。



○避難訓練は、**教師も児童も真剣**に取り組むことができた。

○休み時間の避難訓練を2回行い、**自主避難の意識を高めた**。

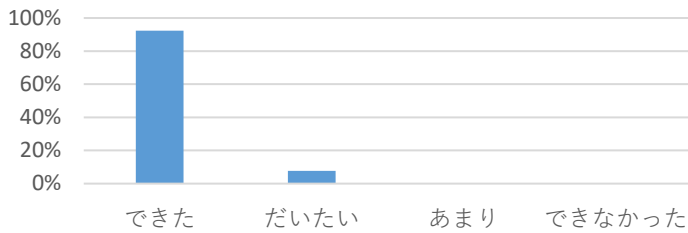
35 保護者からの集金や学校予算は、無駄を省いて効率のよい予算運用を行い、会計処理を適切に行っている。



○**教材費は必要最低限の使用**にすることで昨年度の計画よりも大幅に節約している。

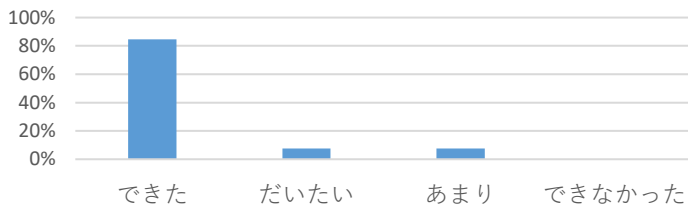
○図工の教材はなるべくキットを購入せず、**材料や作り方を工夫して教材費を抑えた**。

36 交通ルールやマナーについて児童に繰り返し指導し、自分の命は自分で守る意識を育てている。



○下校時は毎日、昇降口前で**安全について確認**した後下校させることで、意識を高めた。また、**保護者に遠方の児童の見守りの協力をお願い**し、安全確保に努めた。

37 食物アレルギーをもつ児童についての情報を校内で共有し、危険がないか確認すると共に、有事の際の対応がスムーズに取れるようにしている。



○校内の**アレルギー児童の情報が回覧**され、給食時の**代替食についても確認**できた。
○食物アレルギーをもつ児童の情報や**緊急時の対応について確認**できている。対応マニュアルを定期的に再確認するようにしたい。
○担任の出張等で、給食時に学級に入ることがあるが、この学級には食物アレルギー対応の必要があるという意識を強くもてるように、**はっきりとした表示を教室**におくようにしたい。

【5 安全・安心の確保について】

○「安全・安心の確保」では、全6項目で良評価が9割を越えている。本校の教職員は職務への使命感が強く、倫理意識も高い。倫理確立委員会での死角対策や個人情報管理、適切な会計処理等についての研修も自分事として取組み、教職員事故や不祥事の根絶につながった。

○避難訓練や交通安全指導を計画的に行い、緊急時にどのように対応し、自分の命を守るために何ができるか、児童に考えさせる教育に取り組むことができた。

6 保護者・地域との連携

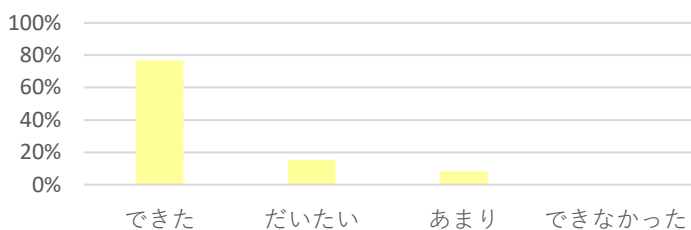
教職員自由記述

38 社会に開かれた教育課程を具現化するため、学校・保護者・地域での連携を意識して職務を行っている。(情報発信、人材・地域施設の活用)



○地域連携に積極的に取り組んでいる。除草作業などに児童や保護者、地域の方々がさらに参加できるよう工夫したい。
○積極的に連携を呼びかけていると思う。

39 学校だより・学年だより・HP等を通じて保護者・地域への積極的な情報発信に努めている。(月1回以上児童の様子の発信)



○HPに通信やひかりニュースをたくさんアップして情報発信に努めた。
○毎月学校だよりと学級の様子を配信し、継続的にHPで発信できている。
○学年だよりに加えて学級だよりを毎週発行し、学校での児童の様子を保護者に知らせた。
○養護教諭としての赴任当初は保健だよりが作成できず、2か月発行ができなかった。以降は配付できているが、児童や家庭への啓発の

40 定期的に学校運営協議会を開催し、関係者と平方北小の教育方針と現状を共有し、連携して課題解決に取り組める関係を築いている。



○登校時のあいさつ運動をしてくださる委員の方に子供の様子を聞くなど、細かなコミュニケーションをとり、チーム学校としての連携をとるように心がけている。
○学校運営協議会では、学校経営の成果と課題について、校長がパワーポイントを使って教育活動の様子を説明したり、学力調査の結果を伝えたりして、教育活動について理解していただくことができた。
○11月に行った学校運営協議会の方々との食事会では、普段関われない方とお話することができてとてもよかった。

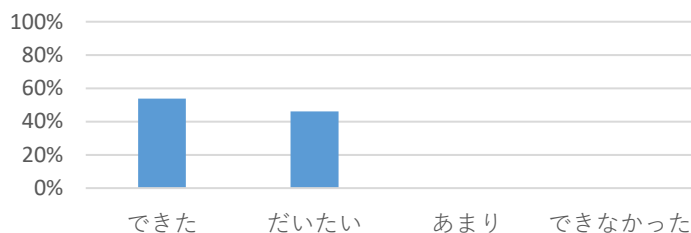
【6 保護者・地域との連携について】

○「保護者・地域との連携」では、全3項目で良評価が9割を越えている。保護者アンケートでも良評価が9割を越えていることから、情報提供と連携が広がっているといえる。学校応援団の活用を今後さらに充実させ、地域とともにある学校づくりを一層推進したい。

7 児童の達成状況

教職員自由記述

41 児童は、楽しんで学校に通っている。(自己肯定感、所属感をもっている。)

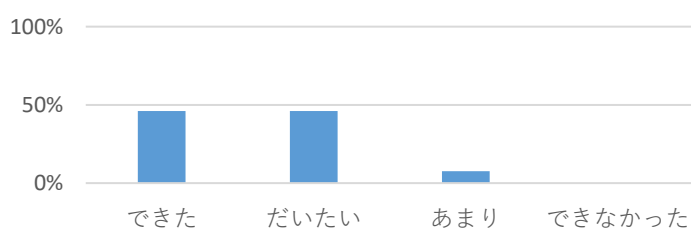


○異学年交流をするときには**上級生としての意識が高まり**、縦割り班での行事では高学年が**下級生にやさしく接していた**。行事に楽しそうに参加する児童が多数いる。

○自分に**自信がない児童**もいる。**自己肯定感の向上のため**、声かけ等、指導を工夫する。

○家庭で触れる機会の少ない体験をわくわくキッズプログラムや芸術鑑賞会等ででき、**他の学校よりも体験活動が多くて良い**。

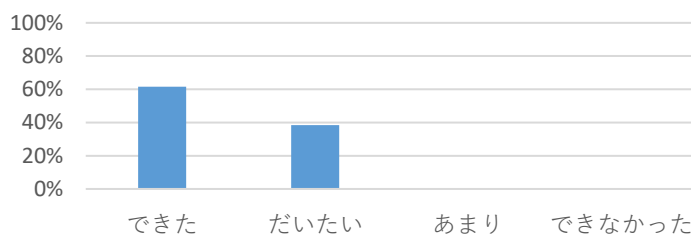
42 児童は、あいさつや基本的な生活習慣を身につけている。



○あいさつについては、**登校時や廊下ですれ違ったときに、元気にできる児童**が多い。一方で、**旗当番などの保護者の方へのあいさつに課題**があるので、引き続き指導を続ける。

○**体調不良**を訴える児童の中には**就寝時間が遅い児童**もいる。学校保健委員会で睡眠の話を行い、児童にも聞かせる機会をつくってもよい。

43 児童は、感謝を伝える、手伝いをするなどの思いやりのある言動をしようとしている。

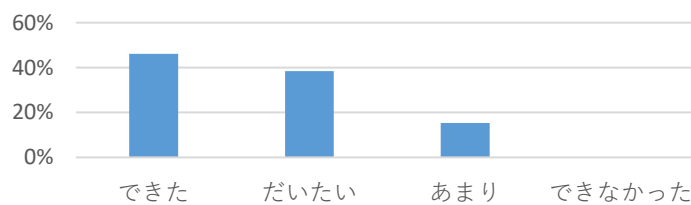


○思いやり週間を行い、**思いやりのある言動**が子どもたちも**増えてきた**。

○帰りの会に「**友達の良かったところ**」を伝え合う時間を設け、**思いやりを褒める場面**を作ったことで、**手伝いをする児童**が多くなった。

○書写でプリントを配る際や準備のときに**手伝ってくれる児童**が多くなった。**お礼もしっかり言えている**。

44 児童は、主体的に学習する態度が身につけている。



○児童の中で、**よりよい生活を自ら考えて行動**する児童が増えてきている。また、**周りに声をかけている児童**も増えてきている。

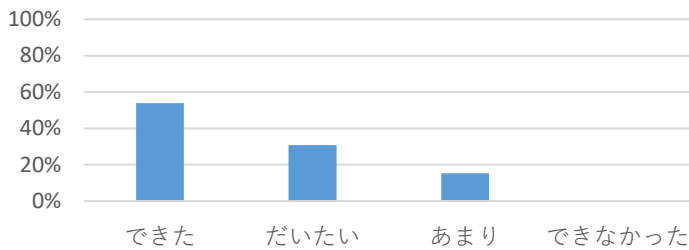
○**自信をもって行動できる機会を与えることが大切**だと思う。クラス、学校行事等…**コロナ5類移行により特別活動等**で少しずつ取り組みが進んできている。

○ひかりの児童は、与えられた課題や運動に対してよく取り組んでいる。主体的に取り組む児童もいるが、そうでない児童もいる。同様に、思いやりのある言動が多い児童もいるが、そうでない児童もいる。

○児童が、向上心をもって自分自身を成長させようとする意思を高める指導が必要である。主体的に向上心をもって行動しようとする児童を育てる実践をしている学校などの例も参考にして、本校もさらに非認知能力を高める指導を進めていきたい。保護者にも協力を仰ぐため、資料提供や講演などの工夫を考えていきたい。

○まだ学習意欲が低い児童もいるので、魅力的な単元設定をしていきたい。また、児童が計画的に学習をすることができるように、見取りや個別の対応をしていきたい。

45 児童は、体力向上及び健康の保持増進を図ろうとしている。



○ひかり学級の毎日の朝の運動に一生懸命取り組んでいる。

○体力向上に向けて、**外遊びの奨励**や体育の授業の初めにおにごっこ等の**走る運動**を取り入れることができた。

○全児童が同時に運動をする時間が足りない。体育集会等、**定期的計画的に実施していく**必要がある。

【7 児童の達成状況について】

○「43 思いやりのある言動」は良評価が9割となっている。講話集会での校長講話や日々の担任の指導、思いやり週間の取組等を通して、相手意識をもって行動しようとする態度を育てることができた。

○「41 楽しく学校に通う」は良評価が8割を越えている。教職員の回答では「そう思う」「思う」のポジティブな回答を全員がしているが、児童アンケートではポジティブ回答が87%、ネガティブ回答が13%だった。集団生活をする以上児童間トラブルは避けられないが、問題発生時に児童の心に寄り添い、児童の目線に立って適切に早期に解決することで、安心して楽しく学校に登校できるようにする。

○「42 あいさつや基本的な生活習慣の定着」は良評価が8割を越えている。「あいさつ」「早寝早起き朝ごはん」については、児童・保護者ともに同じく8割を越えており、多くの児童が学校・家庭・地域でよい行動をとることができている。

○「44 主体的に学習に取り組む態度」は良評価が8割を越えている。児童アンケートでは友達との学び合いやICT端末の活用時に意欲の向上が見られるので、指導方法を工夫し、積極的に学ぶ態度を高めるようにする。

○「45 体力向上」は良評価が8割を越えている。児童アンケートでも体育の授業や体育行事等の取組について良評価が8割を越えており、体力向上への意欲の高まりが見られる。